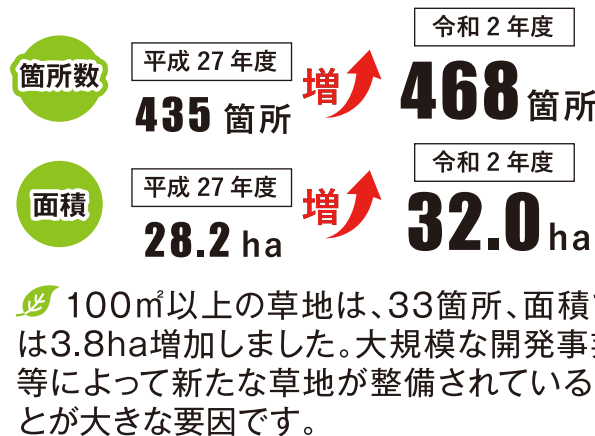


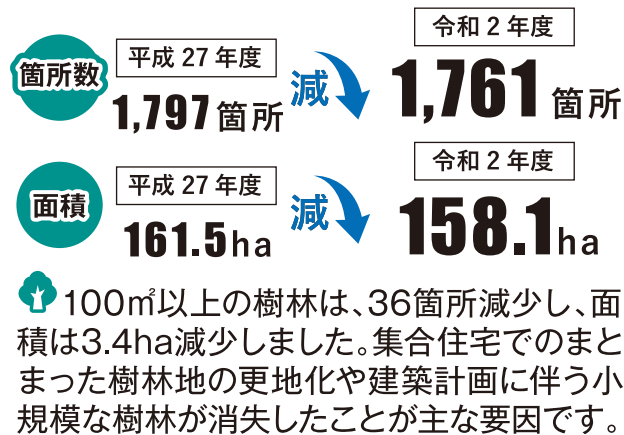
樹木数



草地



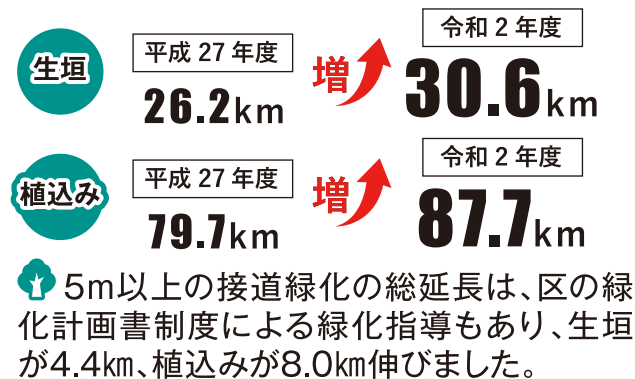
樹林



街路樹



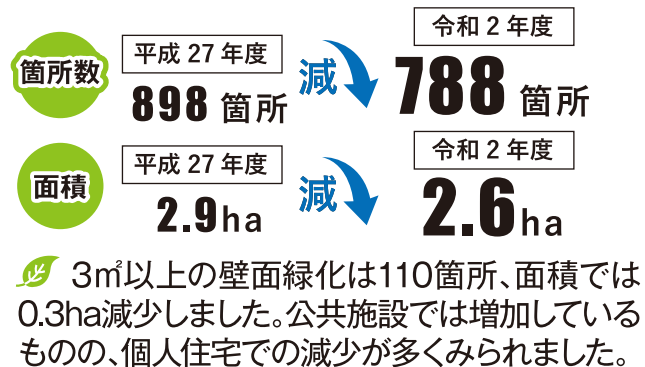
接道緑化



屋上緑地



壁面緑化

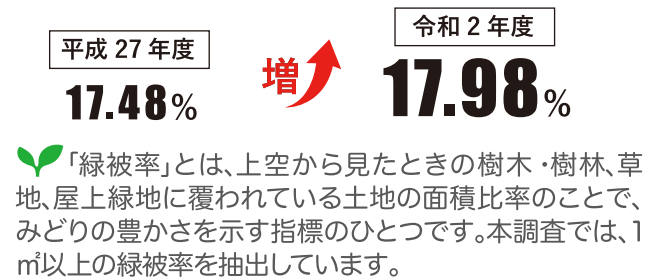


新宿区みどりの実態調査

第9次

概要版

緑被率



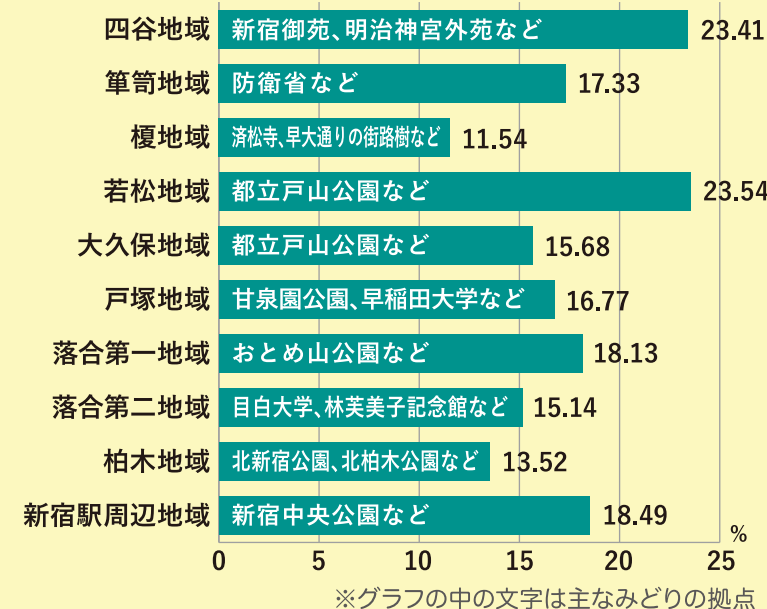
緑被地面積



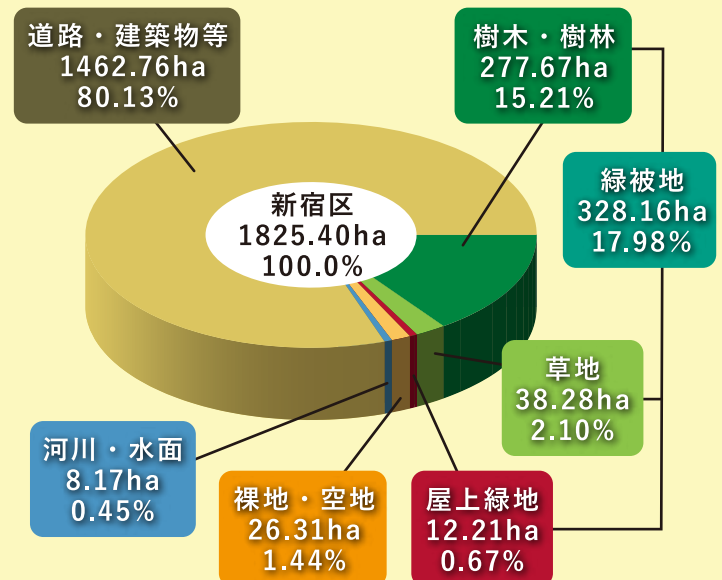
みどり率



地域別の緑被率



緑被地等の構成比

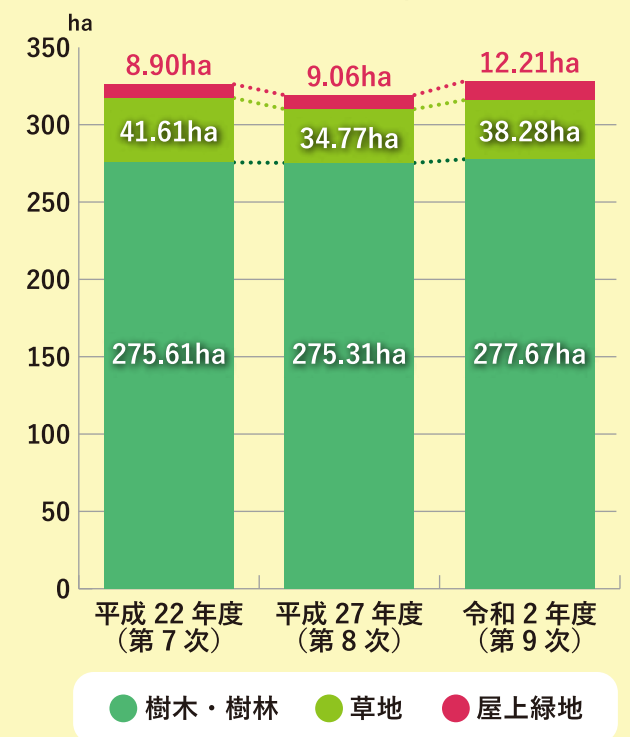


※面積数値は地形図データの図形面積とする

緑被地の推移

5年前の調査と比べると、緑被率は約0.5ポイント、緑被面積は9.02ha増加しました。大規模な開発事業等により新たな施設緑地が整備されたことが大きな要因です。

過去 10 年間の緑被の推移



緑被地区分図

新宿区では、「みどりの基本計画」にもとづいて、みどりの保護、屋上緑化の推進、公園整備などを進めながらみどりを増やし保全する取組を進めてきました。この5年間の取り組みの主な事例をご紹介します。



みどりの保護

◀ 幸國寺の特別保護樹木

幸國寺には昭和62年に新宿区指定文化財(天然記念物)に指定された雌のイチヨウがあり、境内奥の雄のイチヨウと共に特別保護樹木にも指定しています。

みどりの保護 接道緑化の推進

▲ 傳久寺の保護生垣

区では、大きな樹木、樹林及び生垣を残していただくため、保護樹木制度を設けています。保護樹木は1,263本、保護樹林は88,675㎡、保護生垣は1,201mを令和3年2月現在指定しています。

また、接道部の緑化を推進するため、造成する経費の一部を支援する制度も設けています。

屋上緑化の推進

▲ CO・MO・RE YOTSUYA (コモレ 四谷)

区では、敷地面積250㎡以上の土地で建築行為等を行う場合、一定の緑地を設ける緑化計画書制度により、事業者へ指導を行っています。特に、空地の少ない新宿では屋上や壁面の緑化を進めています。

また、屋上等の緑化を行う際の経費の一部を助成する制度もあります。

校庭の天然芝生化

◀ 落合第五小学校

環境教育や都市の緑化の促進を目的として、これまで8つの小学校で校庭や屋上を芝生化しました。

公園の整備

◀ 新宿中央公園の再整備

令和2年度にPark-PFI(公募設置管理制度)を活用してSHUKNOVA(シュクノバ)と芝生広場を再整備しました。

国立競技場の緑化 ▶

令和元年度には国立競技場が整備され、およそ4万7,000本の樹木が植樹されました。また、競技場内は107m×71mの天然芝が敷き詰められています。

公共施設緑化

- 樹木・樹林
- 裸地・空地
- 草地
- 河川・水面
- 屋上緑地

Photo ©2020 Nacasa & Partners Inc.

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号)2都市基交著第26号

0 250 500 1,000 m